

## 会 議 事 録

1 会議名	令和7年度第2回長岡市水族博物館協議会
2 開催日時	令和8年2月13日（金） 午後3時から4時30分まで
3 開催場所	寺泊きんぱちの湯 2階
4 出席者名	<b>【協議会委員】</b> 柳下委員長、大浦方副委員長、池浦委員、川上委員、駒形委員 佐藤委員、品田委員、家後委員  <b>【委員以外の出席者】</b> 小林寺泊支所長  <b>【事務局＝科学博物館】</b> 金垣教育部参事（科学博物館長）、五井科学博物館長補佐 池田寺泊水族博物館長、蝶名林技師 岸田博物館専門員、田中会計年度任用職員
5 欠席者名	清水委員
6 議題	報告 (1) 令和7年度事業実施状況について  (2) 令和8年度事業実施計画について  (3) 水族博物館整備事業の計画（概要）について
7 審議結果の概要	(1) 令和7年度事業実施状況について 事務局より報告  (2) 令和8年度事業実施計画について 事務局より説明  (3) 水族博物館整備事業の計画（概要）について 事務局より説明

8 審議の内容	
事務局	<p>(1) 令和7年度事業実施状況について (資料により説明) 主な意見は次のとおり</p>
委員長	<p>令和7年9月の新聞で、「寺泊水族博物館アクおどの熱気」という記事を目にしたが、詳細について聞きたい。</p>
事務局	<p>ホラーゲーム「アクアリウムは踊らない」の作者が新潟県出身ということで、幼少期から寺泊水族博物館を訪れており、当館が作品の舞台となる水族館のモデルの一つとなっていることもあって、作品とのコラボイベントが実現し、多くのファンが来館された。</p>
委員	<p>SNS で、作者と水族館を周るツアーを行っているといった情報を見た。</p>
事務局	<p>今回のコラボイベントは作者のご厚意によって実現したものであり、本来は作品の著作権等の関係から多くの契約事務作業や著作物使用料が必要となる。今年度もコラボイベントを行うことがあれば、今回の経験を活かして取り組もうと思う。</p>
委員	<p>現在冬期間中学生以下観覧料無料キャンペーンを実施しているが、対象となるのは市内の子どもたちだけなのか。</p>
事務局	<p>市内外関係なく対象としている。</p>
委員	<p>冬期間の観覧者数低下対策としてのキャンペーンとのことだが、月別観覧者数の推移を見ると10月以降から観覧者数は減少しているため、どうせなら下半期すべてをキャンペーン期間としてはどうか。紅葉シーズンを踏まえ、弥彦村などから訪れるファミリー層の集客が見込まれる。観覧者数を主な成果の指標として見るのであれば効果は大きいと思う。</p>
副委員長	<p>先日見学してきたので、気が付いたことを紹介する。 入館してすぐのところに「飼育員がつくるこの辺のざっくりマップ」というものが目に留まった。館内案内ではなく、ホワイトボードに手</p>

	<p>書きで描かれた周辺地図だった。近隣に住む方だけではなく、県外から来館される方もおり、事前に情報を集めているとしても、こういった目につきやすい情報発信によって他の場所を訪れるきっかけになる。</p> <p>上越市立水族博物館うみがたりでは周辺地域と連携して運営していると記憶しているが、寺泊でもそういった情報発信をするのは良いことだと思う。印刷ではなく手書きなのが目を引いた。</p> <p>資料の中に大きなクリスマスリースが設置されている写真があったが、先日訪れたときは鳥居が付けられ「良縁結びのてらすい神社」となっており「紙に願い事を書いて枝に結んでください」という説明があった。本物の神社かと思うくらい多くの紙が結ばれていて、来館者がこのイベントに積極的に参加していることが分かった。こういったSNSで映える企画もなかなか良いものだと思う。</p> <p>降雪により来館者が少ないこともありじっくり展示を見て回られたが、館内のインフラが充実してきたと思った。トイレを例に挙げると、洋式トイレが設置され、身障者用トイレもあり、子ども用便座の用意もされている。2階にはベビールームもあり、先ほども説明があったフリーWi-Fiの設置も含め、施設そのものは古くても、できる範囲のことを積み重ねてきた結果がこれであるし、何よりも館内がきれいに保たれていたなので、今後とも続けてほしい。</p> <p>要望を挙げるのであれば、バックヤードツアー等でバックヤードに来館者が入る場合もあり、観覧面だけでなく、バックヤードの整理整頓も進めてほしい。また、以前事務室に入った時に、長年の書類が溜まっているように見えた。館長から「水族館のことは分からないが、施設の整備等でこれまでの経験を活かしたい」という抱負を聞いたので、館長を筆頭に事務室内の整理整頓も行い、いつ来客があっても対応できるようにしてほしい。</p>
委員	<p>今日来る前に寺泊水族博物館を観覧してきたが、ウミガメとペンギンが見られなかった。いつ頃になれば見られるのか。</p>
事務局	<p>ウミガメの水槽は壁から漏水が発生しており、3月初週にパネルを剥がして内部を確認し、防水工事作業に入れるのではないと思う。しかし、壁の内側がどうなっているのかパネルを剥がしてみないと分からないため、今年度中に修繕する予定であるが、内部の状態によっては前後するかもしれない。</p>

委員	<p>ペンギン広場は、屋上の防水工事が終わり次第、開放するが、雨や雪により当初の予定通りに作業が進んでいないと聞いている。</p> <p>それらについての周知はされているのか。</p>
事務局	<p>屋上防水工事に関しては昨年10月に公式ホームページで情報発信し、正面階段下及び正面玄関入ってすぐのところにペンギン広場へ入場できない旨の注意書きを掲示している。ウミガメ水槽に関してはまだ周知できていない。</p>
委員	<p>入館前に来館者へ周知してほしい。</p> <p>水槽に手書きで書かれている解説がとてもよかった。私自身も興味を引かれて、時間がない中、デバスズメダイの歯をしばらく観察した。</p>
事務局	<p>手書きの解説は人気だが、書き過ぎるとペットショップのような売り文句になってしまうという意見もあり、詳細な解説ではなく、一口メモのような形になるよう考えながら書き込んでいる。</p>
委員	<p>編みぐるみガチャガチャを回すためなのか、受付で両替をしている人を入館時に見かけた。ガチャガチャの前では若い女性客たちがラインナップを見ながら楽しそうに話をしていたため、人気ぶりが伝わってきた。</p>
委員	<p>夏のコラボ期間に立ち寄ったが、すごい行列で諦めてしまった。ホラーゲームとのコラボということで大人が多く並んでおり、グッズの売れ行きも好調だろうと思った。</p> <p>公式Xでスタンプの不正取得に関する注意喚起が投稿されていたが、問題があったのか。</p>
事務局	<p>館内にあるスタンプ取得用QRコード自体を写真に撮り、来館しないでスタンプを取得していると思われる行為が多く確認されるようになったため、公式Xでの投稿や、スタンプ取得用QRコードの変更等の対策を行った。</p>
委員	<p>不正取得は問題だが、そこまでしてでも特典を受けたいと思うほど人気になったと捉えることもできる。</p>

事務局	<p>対策は毎日行っているのか。</p> <p>毎日ではないが、特定の曜日などを決めず不定期で変更するようにしている。短期間に何回もスタンプ特典を受けているユーザーがいたため、不審に思いスタンプ取得ログを精査したところ、不正取得の疑いがあると発覚した。</p>
委員	<p>毎年ポスターがコミュニティセンターへ届くが、今年度は前年度のものを剥がさずに並べて掲示してみたところ、利用者の反応を見るにポスターに描かれている寺戸マリというキャラクターがあまり認知されていないようだった。せっかく日本アニメマンガ専門学校に依頼して制作されているのもったいないと思う。</p>
事務局	<p>年々学生ごとのクオリティの差が大きくなり、ポスターを制作することが難しく、日本アニメマンガ専門学校側と協議し、昨年度で終了することとした。</p>
事務局	<p>(2) 令和8年度事業実施計画について  (3) 水族博物館整備事業の計画（概要）について  (資料により説明)  主な意見は次のとおり。</p>
委員長	<p>紅葉シーズン中、弥彦村からはどのくらいの観覧者が訪れているのだろうか。観覧者がどこを經由して訪れたのか分からないか。</p>
寺泊支所長	<p>以前、携帯電話の位置情報によりどこにどれくらいの人が集まっているのかをKDDIから市へ情報提供を受けていたことがあったが、現在は行っていないと思われる。</p> <p>人の流れとしては岩室、弥彦、寺泊というルートで移動し、魚の市場通りに立ち寄っていると思われるが、そのうちどのくらいが寺泊水族博物館へ入館しているかは分からない。</p> <p>関連して、SNSで盛り上がっていた編みぐるみガチャガチャや、ゲームとのコラボのような、目的地にしてもらえるような魅力を発信していくのが重要であると感じた。寺泊駅にノートが設置されているが、「交通の便は悪かったが、来て楽しかった」といった書き込みがあった。このように行く理由があればどんなことをしてでも行くという方</p>

副委員長	<p>が多い。栗生津駅近くにあるキャラクターとコラボしているカフェへ行くために、燕三条駅から徒歩や自転車で向かうという人もいるらしい。</p> <p>昨年発売された桃太郎電鉄にて、今回初めて寺泊駅が登場した。そこで立ち寄れるスポットに魚の市場通り等はあるものの、寺泊水族博物館が候補になかったのが残念に思う。</p> <p>日本の動物園を10カ所周ったが、熊本動物園に向かった時、駅から路面電車で向かうのだが、多くの乗客が熊本城前駅で降りていき、自分だけがそのまま動物園まで乗っていった。あるいは、姫路城の足元に姫路動物園があるが、多くの方が姫路城を見上げる中で、自分だけが動物園へ向かうということが多々あった。私はお城関係に興味がないので、近くを通っても見学してこなかった。先ほど寺泊支所長がおっしゃったように、目的があればいろいろな障壁を乗り越えてでも来ると思うので、寺泊水族博物館の魅力を情報発信してほしい。</p>
委員	<p>私は編みぐるみが好きなので、登場したと聞き早速ガチャガチャを引きに行った。水槽に描かれている手書きのメッセージが、飼育員の顔が見えるようで暖かさを感じて良いと思った。</p> <p>アメリカザリガニがいる水槽といたない水槽で比較展示をされていた。あまり見ない展示方法で、外来種が良くないものということは知っていても、具体的にどう良くないのかを分かりやすく紹介していて良いと思った。</p> <p>ビーチコーミング体験への申し込みが少ないという話だったが、ビーチコーミングという言葉の意味が一般的に知られていないため、興味が引かれないのではないだろうか。ビーチコーミングをサブタイトルとして、具体的にどんなことをするのか一目で分かるイベントタイトルにした方が良いと思う。</p>
事務局	<p>職員内でも同様の意見は出ており、来年度はイベントタイトルの変更を検討する。</p>
委員	<p>海岸を散策して漂着物を探すという内容から、ごみ拾いのようなイメージを持たれていると思う。</p>
寺泊支所長	<p>糸魚川で行われている翡翠（ひすい）探しイベントを参考に、お酒</p>

<p>委員</p> <p>副委員長</p>	<p>落なイメージを持たれるようなタイトルを考えられると良いと思う。</p> <p>幼少期、グリコのキャラメルを買うと小さなおもちゃが付いてきており、そういったものが海岸にいくつも漂着し、それを拾って集めるのが楽しかったことを覚えている。昔は遊ぶものも少なく、こういった宝探しが娯楽の一つだった。</p> <p>水槽に書かれている手書きの解説について、デバスズメダイの解説にあった「じっくり観察してみよう」という言葉が背中を押してくれた。すぐに見つからなくてもその言葉があることで、子どもたちは時間をかけて観察してくれるだろうと思う。隣にあるフナムシの水槽には実物のイラストが描かれており、それを参考に探すことで時間はかかったものの見つけることができた。こういった、いかに水槽の前に立ち止まらせるかというのが魅せ方である。社会学的な話になるが、SNS と同じく YouTube や Instagram、TikTok といったものは、いかに短時間でものを見ていくかという方向に移行している。いわゆる Z 世代と呼ばれる若者が重視するのはタイムパフォーマンスということで、私たちには信じられないが、テレビや映画を倍速で見ることで得をしたと思うらしく驚いた。水族館の展示というものは、その対極を目指すものであり、いかに長い時間水槽の前に立ち止まってもらうかというところを目標に、学芸員やスタッフがいかに背中を押すか、そういったメッセージが重要となってくるので、そういったところを頑張ってもらいたい。</p> <p>掲示されていた和島小学校 2 年生の感想の中で「私は 2 回目だったけれども、目を凝らしてみたら見たことのないものがあったり、ところどころにあった文を読むと、いろいろなことが分かりました。また家族と行って、勉強しながら楽しみたい」という、求めているものを受け止めてくれた子どもの感想だと思いうれしくなった。こういった感想が増えるように発信を続けていってほしい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>9 会議資料</p>	<p>別添のとおり</p>